

会 議 報 告 書

1 会議名	平成26年度第2回北上市子ども・子育て会議		
2 日 時	平成26年6月4日（水） 午後1時30分～3時30分	3 場 所	本庁舎2階 庁議室
4 出席者	【委員】 今西界雄会長、小田島瑠璃子委員、佐藤仁実委員、古舘弘美委員、鈴木恵美子委員、高橋郁男委員、小川さつき委員、畠山竜司委員、大塚健樹委員、岸隆子員、佐藤和美委員（出席11名、欠席3名） 【事務局】		

5 内容

別紙次第のとおり

6 結果

(1) 開会

(2) 挨拶 （教育長、今西界雄会長）

(3) 議事

- ①「北上市子ども・子育て支援事業計画」における教育・保育提供区域の設定について及び保育等の需要量の見込みについて （一括で協議）

【資料No.1～4に基づき事務局及びアシスト株式会社西村氏が説明】

説明の要旨：区域の設定は北上市全域を一つの区域とする案を採用したい。保育需要量の見込みについては、今回は考え方を示し、いただいたご意見により今後決定していく。地域子育て支援事業に係る需要量の見込みについては、精査が十分でないので、再度検討してお示しする。

協議結果：区域の設定は北上市全域を一つの区域とする案で賛成。保育等の需要量の見込みについては、今後の児童数の増加の可能性を考慮し、ゆとりを持って設定していく。

【質疑応答】

- ◆市内中心部までは車で30分で移動可能といっても、さらに職場に着くまでに時間がかかったり、冬場だと条件が変わる。北上を一つの区域と考えても、保育施設が特定の地域に偏らないようにしたほうがよい。また新しい工場等が誘致されるようにするためには、見込み量にゆとりがほしい。
- ◆子どもを地域の人たちと一緒に育てていくという考え方で、今も保育を組み立てている。そのこととこれからやっていかなければならないこととをどうやって合せていけばいいのか。
- ◆地区運動会などを開催すると、今は子どもたちが忙しくなかなか参加してくれない。また、親は、保育時間が長い保育施設を探して入園させるなど、なかなか地域とのつながりを作るのは難しい。
- ◆市を一つの区域として考えていくことに賛成。親が仕事の都合などで、最寄りの保育園幼稚園でなくあちこちに入れている実態もある。小さい地域より大きい地域で考えていったほうがよい。
- ◆量の見込みはもう少し多めに見てほしい。将来に希望を持てば、今後増えていくことも考えていいのではないか。例としては、滝沢市は盛岡市に近いところとそうでないところと事情が異なるため、学校ごとに区域分けをしている。見込み量は増えていく想定をしていた。

②「北上っ子すくすくプラン」の検証結果と新計画の基本理念について

【資料5、6に基づき事務局が平成25年度までの事業の進捗状況を説明】

説明の要旨：この検証結果で遅れているものを新計画に搭載し、さらなる実現を図っていく。

協議結果：本日皆さんからさまざまなキーワードや提言をいただいた。これらのキーワードや提言をもとに新計画の理念等について事務局で検討し、お示しする。

【質疑応答】

- ◆家庭児童相談員が2名しかいないが、ケースが多く手が回らないという実態はないか。民生委員に情報を提供するタイミングが遅い感じがあるが、それも相談員が不足しているからではないか。
→相談員が不足しているとは認識しておらず、相談員が忙しい時は職員も相談に対応している。
- ◆無償で相談員になってもいいという人の活用を考えてみてはどうか。
- ◆私立幼稚園就園奨励費についてだが、子どもがある程度大きくなったら保育園から幼稚園にシフトするという流れを作るため、就園奨励費を増やしてはどうか。公立保育園や私立保育園では3歳までをみるようにすると、新しいハコモノを作らなくても、今ある施設を利用してまかなえるのではないか。
- ◆障がい児の発達支援について、障がい児はこれからどんどん増えてくると思う。障がいを持ったお子さんが、放課後遊べる場所や、障がい児の放課後児童デイを増やしてほしい。
- ◆思春期講座について、10代の中絶率が高いと聞いているので、小学校高学年くらいから子どものできる仕組み等について学べる場があったほうがいい。
- ◆駅前の生涯学習センターのアクセスが今いち悪い。また、市のさまざまな事業のPRが足りないように感じる。
- ◆保育所を増やすということも大事だが、定員割れしている幼稚園の活用をしたらいいのではないか。
- ◆障がい児の受け入れについて、私立幼稚園に対する補助金を県だけではなく、市でも準備してほしい。

(4) その他

① 本会議の公開の可否について

【事務局より口頭で説明】

説明の要旨：この子ども・子育て会議を公開してほしい旨市に対して要望があったことから、委員の皆さんに、公開しても差し支えないかどうか意見を伺いたい。事務局としては公開の方向で考えていきたい。

協議結果：次回より公開で行う。

【質疑応答】

- ◆賛成。さらに、傍聴するだけでなく、アンケートなども書いていただけたらどうか。
- ◆基本的に賛成だが、どういう方が入ってきて聞くものか。
→子育て支援の関係者だと思われます。

(5) 閉会